

越田会長記者会見要旨

日 時：平成17年2月15日（火）午後4時30分～午後5時

場 所：フロンティア21記者会見場

出席者：越田会長、高橋副会長、渡辺専務

高橋副会長から自主規制会議の審議事項の概要について、渡辺専務から証券戦略会議の審議事項の概要について、説明が行われた後、大要次のとおり質疑応答が行われた。

（記者）

ジャスダックが取引所になって2ヶ月経ち、その間にシステム障害等が発生しているが、ここまでの感想を伺いたい。

（越田会長）

ジャスダック市場における売買代金及び売買高を取引所化する前と後で比較すれば分かりやすいかと思うが、取引所になる前の11月と取引所になった1月を比較すると、1月における売買代金は143%、売買高は114%とそれぞれ増加している。これらの増加の理由は、やはり証券取引所となったことに伴い、成行注文や立会外分売等が可能となり、投資家への利便性が格段に向上したことが理由ではないかと考えている。

またそれ以外にジャスダック自身もいろいろな策を打っており、例えば昨年12月21日に「ジャスダック女性経営者交流会」を設立しており、本年1月26日には「JASDAQ 地域経営者倶楽部」というものを創設している。このような取組みにより、投資家及び発行会社等のニーズに適切に対応し、非常に良質な発行会社が多数参加する形で、より一層、競争力のある市場になればいいと考えている。

(記者)

ジャスダック証券取引所の今後の重点的な、克服すべき当面の課題についてどのように認識されているか。

(越田会長)

特にはないが、今年に入って IPO が急増しているので、その点ディスクローズ、価格形成等、妥当な形で推移すればいいと考えている。

(記者)

ライブドアとニッポン放送の TOB 等をはじめ、最近法改正で会社の資本移動について証券業界だけでなく一般の関心が高まっているかと思う。かたや 例えばああいうやり方は許されるのかとか、証券関係のスキームとか、一般の業界の外からみた目の批判、社会的評価に晒される機会が多くなっているかと思うが、特に今、ライブドア、ニッポン放送のことが非常に話題になっているので、それについての感想があればお願いしたい。個別のことが難しければ 一般的なことでも構わないがお願いしたい。

(越田会長)

個別のコメントについては現在できる段階でもなく、そのような豊富な情報も持ち合わせていないが、一般論で言えば、上場会社の株式の価値の大きな変更は、一般投資家に多大な影響を与えることとなるので、情報を知らない一般投資家が不測の損失を被らないよう、上場会社は常に市場のルールに則り、公正に誠実に行動して欲しいと考えている。

(記者)

一般論になると思うが、東証の場外取引システム ToSTNeT は、そもそもこういう形の株式の大量売却を考えてできたシステムではないのに、こうした抜け道のような、法的な面も含めてシステム上の隙を狙った買い付けという、取引の形態は、今回の場合だけでなく法律には違反していないが、システムの隙を狙ったという、どちらがいいか悪いかわからないが、こうした取引の慣行、形態をみてどう考えるか。

(越田会長)

取引所のことであるので、何ともコメントしようがない、またコメントするだけの知識を持っていない。

(記者)

ライブドアの件だが、コメントしようがないとのことだが、今回の取引自体は協会の会員である証券会社がある程度スキームを作ったという中で、本日金融庁の長官が法の整備で何らかに対応しなくてはいけないというコメントをだした中で、協会として協会員が手伝った今回の大量取得について何もコメントはないのか。

(越田会長)

協会の会員が行ったスキームだという話だが、今初めて聞いた話であり、取引のことに関しては東京証券取引所でいろいろ今後とも検討されることであり、そこに言われるような、いろいろな理知を活用したといった問題があるとすれば何らかの対応策が必要であると考え。いずれにしろ、協会としては取引自体に対して対応する立場にはなく、現在のところなんともコメントのしようがないというのが実態である。

(記者)

先日、ジャスダックシステムが1時間以上にわたり売買停止するという状況があったが、これに関しては証券会社のシステムの問題が一つの引き金となったとの説明をジャスダック証券取引所から受けている。証券会社のシステムに問題があるとすれば協会として協会員である証券会社のシステム問題に関して、何らかの処分もしくは調査といったことを行っているのか。

(越田会長)

今の質問は、協会会員の取引の問題ということか。

(記者)

協会会員のシステムの問題が、ジャスダックの売買システムに問題を発生させたという問題についてということである。

(越田会長)

今の質問に対しても初めて聞くことであり、私を知る限りではIPOに絡んでの初日の商いが集中して問題が起きたと聞いている。いずれにしろ、御存知のとおり、ジャスダックは協会の手から離れ、取引所として独立して存在しており、問題点があれば今後とも独自の力で解決していかなければならない問題と思っている。協会の会員のシステムの影響によってという話は、今初めて聞いた話である。

(記者)

先だってジャスダックの社長会見の時には、証券会社の注文が証券会社のシステムの問題で大量に分割発注され、その結果、その取消しが何度も入ったことによりシステム障害を起こした。それが特定の1銘柄にそういうのが起き、寄り付き前から売買を停止せざるをえなかったという話なので、今話にあったIPOの集中に関しては関係ない部分かと思うが。

(越田会長)

取引の取消しその他、集中的な商いがあったという話だが、これから出来高が大きくなれば当然もっと出てくる問題だろうと思うので、そういった全ての問題に対応できるシステムというのが今後当然必要となってくると考える。

(記者)

大和証券と三井住友銀行の経営統合の話が、報道されているがこうした金融コングロマリットの流れに関して一言感想をお願いしたい。

(越田会長)

事実関係がそういった流れに本当になっているのかということがまず、私には情報が入ってきていないので、そういった流れになるという前提でのコメントは差し控えたい。

以 上